

報告日 令和8年1月28日
報告回次 2回目

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	北海道			代表者名	鈴木 直道
担当者部署(属性)	企画担当	担当者部署名	上川総合振興局地域創生部地域政策課	連絡先電話番号	0166-46-5917
担当者役職	主査	担当者氏名	鳥越 一孝	連絡先E-mail	
住所	079-8610 北海道旭川市永山6条19丁目1番1号 上川合同庁舎				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名	連絡先部署
担当者氏名	連絡先電話番号

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（複数団体）	事業名	生成AI研修会
概要	北海道上川総合振興局管内市町村の生成AIの導入及び活用を促進するため、生成AIを導入した先行団体のアドバイザーから生成AIの基礎、導入の経緯・経過、職員が活用するようになるポイントや業務効率化の活用事例等について講演いただきたい。		
支援を求める分野	生成AI活用		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				オンライン
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和8年1月22日	講演（実地）	13時20分	16時10分	
				活動時間（分）	170

2-2. 派遣場所	会場名	最寄駅	上川総合振興局公用車（振興局職員と同乗）
	所在地	最寄駅からの交通手段	
	土別市役所2階201会議室	旭川駅	
	北海道士別市東6条4丁目1番地		

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	碓井 洋寿
評価	大変良い
上記評価の理由 (どのように ところがよかつ たか等詳細に)	講演の初めに、アイスブレイクとして生成AIを活用したアンケートをその場で生成し、実施していただき、受講者は講演内容の生成AIの活用可能性について関心を持って受講に望むことができた。その後も具体的な生成AIの活用方法や活用の心構えなどをわかりやすく説明いただき、生成AIについてこれまで「難しい」「活用方法がわからない」といった課題があつた受講者の生成AIに対する心理的ハードルを下げ、今後活用したいとの意見が多数寄せられた。基礎的な内容のみならず、現在のトレンドも紹介いただくことで、まずはやってみよう、という内容から、更に様々な活用が可能であることも受講者は認識することができた。当別町での職員に浸透するための取組も同じ自治体として大変参考になったとの意見も寄せられた。
アドバイザー への要望事項	引き続き他の市町村の生成AIの導入活用の促進にご協力いただきたい。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】		合計人数	32人
	属性	自治体職員		
	人数	32		

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	生成AIによる業務効率化は行政サービスを維持確保するうえで有効な手段であることについて、管内自治体の間で概ね共通して認識されている。一方で、管内の一部の市町村からは「導入できていない」「どの分野や業務で適用すれば効果的なのかわからず、活用に至っていない」といった課題が寄せられている。
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	受講者が、今回の研修をきっかけとして少しでも生成AIに触れる機会を増やし、また、周囲の人を巻き込んで普及・活用を進める。これにより、個人、組織として生成AIの活用能力を向上させ、市町村における生成AIを活用した業務改善を進める。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	生成AIの基礎からトレンド、生成AIを導入し、職員の生成AI活用を浸透させた当別町での取組内容、具体的な業務への活用事例などについて講演いただき、管内市町村の生成AIの導入・活用を促進するための支援を受けた。
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	生成AIの活用が進んでいない理由として、「活用方法がわからない」「職員の理解・リテラシー不足」「業務に適用できるイメージが持てない」といった課題があげられていたが、本研修の実施により、受講者の生成AIに関する基礎的理解が深まり、生成AIに対する心理的ハードルを下げる事ができた。また、受講者からは、生成AIによる業務効率化の有効性を理解できた、今後活用してみたい、との意見が多く寄せられたことから、生成AIの導入・活用の促進に資する研修となった。
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 ⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない 生成AIの導入・活用を促進するための研修であり、具体的な成果物はない。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし。
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても構構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 本研修により、生成AIに関する基礎理解が深まり、業務に活用できるという認識を多くの受講者と共有することができた。これまで「職員の理解・リテラシー不足」「活用方法がわからない」「業務に適用できるイメージが持てない」といった理由から生成AI活用が進んでいなかったが、本研修を通じて生成AIに対する心理的なハードルが下がり、身近な業務での活用イメージを持てた点は大きな成果である。本研修は、管内市町村における今後の生成AIの導入・活用に資する内容であったと評価できる。
4-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい ⑤その他 1/23（金）に研修を予定
4-4. 事業の最終的な目指す姿	受講者が、今回の研修をきっかけとして少しでも生成AIに触れる機会を増やし、また、周囲の人を巻き込んで普及・活用を進める。これにより、個人、組織として生成AIの活用能力を向上させ、市町村における生成AIを活用した業務改善を進める。

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 掲載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good_practices/past_year_all_houkoku/

なお「その他」を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG等）」を数枚程度貼り付けて下さい。

